

# 議会報告・意見交換会報告書

(1班)

<b>開催日時</b>	令和元年10月9日(水) 午後7:00 ~ 午後8:21		
<b>開催場所</b>	上津江公民館		
<b>出席議員</b>	議員名①	(班長) 井上正一郎	
	議員名②	財津 幹雄	
	議員名③	中野 哲朗	
	議員名④	原田 裕文	
		<b>氏 名</b>	
	<b>司 会</b>	原田 議員	
	<b>開会挨拶</b>	早川 自治会長	
	<b>閉会挨拶</b>	自治会長	
	<b>記 録</b>	中野 議員	
<b>参加人数</b>	17名(内訳:男性 名、女性 名) / アンケート回収 17名		
<b>主 意 見 要 望 回 答</b>	<p><b>事前提出のテーマ</b></p> <p>(1) 国道387号線の現況について (議員) 平成23年度から30年度には完成するという説明を地元にしていた。豆生野の拡幅工事は、平成25年度から令和8年度までに行うということで、保安林の解除を林野庁に申請している。これが、手続き的に時間がかかるということで、保安林の解除が終わり次第、用地の協議になる。具体的にいつから工事を始めるというところには、至っていない。</p> <p>(2) 住民自治組織について (議員) 昨年10月に中津江の組織「中津江むらづくり役場」が設立された。平成30年度は組織の助走段階で、これまで振興協議会が行ってきた事業を中心に展開し、高齢者世帯への声かけ、地域の見える化マップの作成を行った。また、情報発信のための広報誌の発行、ホームページの作成、イベント情報の発信など、住民自治組織自体の周知を行った。令和元年度は、18の項目を掲げ、事業計画を作成している。活動を実際に進めるための「まなぶ部会」「くらす部会」「まもる部会」「つくる部会」「つどう部会」の5つを設置している。</p>		

# 議会報告・意見交換会報告書

(1班)

開催日時	令和元年10月9日(水) 午後7:00 ~ 午後8:21
開催場所	上津江公民館
意見交換	
主な意見	<p>(A氏)</p> <p>国道387号線の改良について、保安林の手続き解除と言ったが、そんなに時間がかかるはずがない。予算がないとか言って仕事をやっていないと思う。議員は、保安林の解除にどうしてそんなに時間がかかるのかといった勉強会などやっているのか。執行部に言われるとおり、そうですかでは全然渉らないと思う。</p> <p>(議員) 渉</p> <p>言われるとおり、保安林の解除について具体的に議員として知らない状況。事業化されて時間が経ち、遅々として進まないという現状を重く受け止める。今後、急ぐよう働きかけたいので了承願いたい。</p>
要望	<p>(A氏)</p> <p>用地問題であれば、相手のあることと理解するが、保安林解除の手続きには時間がかかからないはず。理由にならないと地元では受け止めている。</p>
回答	<p>(B氏)</p> <p>中津日田道路もかなり進んできつつあると聞くと、国道387号線は日田-熊本間をつなぐ道路だという大きな捉え方で市全体が動いてほしいと希望している。道幅が狭く、離合が難しいのに交通量が多い現状を踏まえ、国・県道だから時間がかかると思うが、議員の積極的な取組で、なるべく早く改良できるよう県への働きかけをお願いしたい。市全体で捉えれば、経済活動の大きな流れになるので、ぜひ取り組んでもらいたい。</p> <p>(C氏)</p> <p>イノシシの捕獲に対する報奨金は、県の猟期の11月1日から3月15日までの間が3,000円、猟期外は8,000円と差があり、猟期内の捕獲が進まないため被害がものすごい。イノシシが防護柵の下を掘る被害が今年は特に多かったが、補助事業による設置は一回しかできないので、防護柵の下に鉄筋を通すような追加事業、資材支給はできないか。イノシシの臭さが米の質に影響する。</p> <p>(議員)</p> <p>ここ数年、鹿よりもイノシシの被害が多い。追加の補修について、担当課に実情を伝え、対策ができないかを伝えたい。</p> <p>(A氏)</p> <p>高齢化時代となり、福祉サービスの事業で見守りをやっているが、民生委員・児童委員にシワ寄せがきている。今後、人材がいなくなることを全体的に考えていただきたい。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

(1班)

開催日時	令和元年10月9日(水) 午後7:00 ~ 午後8:21
開催場所	上津江公民館
主な意見・要望回答	<p>(議員) 地区内の現状をよく分かっている民生委員の業務量が増えているが、ほとんど実費支給との状況。10月いっぱい切り替えとなるが、なかなか引き受けてもらえない事情は理解している。行政も、民生委員におんぶに抱っこという現状。議会として、民生委員のみなさんとの懇談会があるので、その中で出た要望は、市に伝えたい。</p> <p>(A氏) 上津江のデマンドバスは、幹線道路と市道の運行となっている。高齢者が坂道を登れず、病院に行きたくても行けないので家の前まで来れるような運行をお願いしたい。また、バスが大型であるが、小さい車の提供で便を増やしてもらえると、上津江を30分で一巡できる。もう少し改善していただきたい。</p> <p>(議員) 上津江のデマンドバスは、車両5台で運行し、8人乗りが4台、6人乗りが1台している現状。ご意見については即答できないので、担当課に要望として伝えたい。</p> <p>(A氏) 今後、人口が減ると、上津江と中津江の社協を合併させようということになりかねない。福祉サービスは、支所を点在させた方がよく行き届くと思う。一まとめにするようなことはやめてもらいたい。また、そのような提案があった時には主張してほしい。</p> <p>(議員) 社協のしくみが、地域の高齢化社会をいかにサポートしていくかが大切だと思っている。各地区の社協が地域に必要なという方向性は議員としても主張したい。</p> <p>(B氏) 介護認定について、事実かどうかは知らないが日田市は厳しいのではないかとの話を聞く。そもそも国の施策なので、市町村単位の財政の問題はあるが、適正に運営してもらいたい。くれぐれも近隣市町村との乖離がないような運営をお願いしたい。</p> <p>JR日田彦山線の早期復旧を求める署名をしたが、一番の問題は市の負担金だと思う。個人的な考えだが、市が負担してまでやるべきではなく、あくまでJRがやるべきだと思う。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

(1班)

開催日時	令和元年10月9日(水) 午後7:00 ~ 午後8:21
開催場所	上津江公民館
主な意見・要望・回答	<p>(A氏) バスによる運行を選択した場合、市の負担はないのか。 (議員) JRは、三つの方法を提示している。鉄道での復旧の場合は、市の財政負担が求められる。JRの方針としては、BRTの導入またはバスによる運行の場合には、負担を求めない。</p> <p>(D氏) ①国道387号線は、日田と熊本を結ぶ重要路線であり、通行量も多い。市の窓口は、都市整備課であるが、12月定例会の委員会で、ぜひとも上津江の意見を伝え、市からも県に強く働きかけるよう、熱意をしめしてほしい。 ②イノシシ駆除の追加補助は、市の単独事業でやるしかない。予算的にもそれほどかかるものではないと思うので、新年度の予算に向けて、議会からも働きかけをお願いしたい ③社協の統合には、議会の議決を必要としないので、意見が言えるのは、新年度の予算審査での補助金審査だけとなる。理事、評議員となっている議員から、上津江の意見を伝えてほしい。 (議員) ご意見は承ったので、担当部署に伝える。 (D氏) 他地区の住民自治組織の設立に向けた状況はどうなっているか。 (議員) 前津江は、6月にまちづくり会議を開催。大山は、5月と8月に地区振興協議会を開き、設立の検討を行っているが、合意の形成には至っていない。天瀬は、自治会別に15箇所の説明会を開き、地域住民への説明を始めたところである。</p>